

令和6年新春を迎えて



2024
賀正

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆さまにおかれましては健やかに新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また、平素より市政各般に格別のご支援、ご協力を賜っておりますことに、厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、5月8日に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが季節性インフルエンザと同等の「5類」に移行したことなどに伴い、各地で祭りや花火大会などの大規模イベントが4年ぶりに通常開催され、社会が一気にコロナ禍前の賑わいを取り戻し始めました。しかし、その一方では、世界情勢の悪化等により国際的なモノの相場が大きく上昇したことで日本経済の動向に大きな影響を与えました。物価高に伴う家計の節約志向が響き、GDPの5割超を占める個人消費が振るわないなど、国民の生活に悪影響を及ぼす厳しい状況にあります。

こういった物価の高騰を打破するためにも、本市では、電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金を児童1人につき5万円を支給し、また子育て世帯をサポートするため、JA東とくしまの協力のもと「子育て応援米」の無償配布や、10月からは小中学生の給食費を半年間無料にする等、市民の皆さまが安心して日常を送れるよう、社会機能を維持する観点から様々な施策を実施いたしました。加えて、特に家計への影響が大きい住民税非課税世帯に対し、1世帯当たり7万円の支給や全世帯を対象としたプレミアム商品券事業も実施いたします。

さらに、人口減少に歯止めをかけるための施策として、あらゆる世代の市民の皆さまにとっての「住む街としての価値」を高めるという視点に立ち、「子育てのしやすさ」や「健康」、「あそび」、「スポーツ」など、多様な価値観を踏まえた取り組みも実施しております。

具体的には、本市の特色である「みなと」を活かし、賑わいの拠点となるよう本港地区一帯の整備に着手いたしました。今月には小松島ステーションパークに大型のインクルーシブ遊具が完成する予定であり、小松島ならではの景観を活かし、ファミリー層や高齢者等あらゆる世代のニーズに寄り添った賑わいのまち小松島を目指して、今後も事業を進めてまいります。

また、賑わいの創出にも積極的に取り組んでおり、「小松島港まつり」、「こまつしま秋の阿波踊り」、「小松島『逆風』ハーフマラソン」、「中華そば祭りinこまつしま」など、市内外からたくさんの方にご来場いただき大盛況のうちに開催することができました。

そのほか、本年度は特に高齢者世代の方々にも楽しんでいただける施策も展開し、春には、認知症についての理解を深めていただくためのイベントとして「オレンジセミナー」を開催したほか、秋には、「おしゃれまち小松島」を合言葉に、健康と美容を通していきいきと充実した生活を送ることを目的とする「こまつしま・ナイスシニア・フェスティバル」を開催いたしました。

このように、本年も引き続き、「2025年問題」とも呼ばれる超高齢社会への対応をはじめ、大規模災害への備えや医療、福祉、教育などの充実、また、市を挙げての大規模プロジェクトであります「小学校再編事業」や「本港地区活性化事業」の推進など、あらゆる世代の方々の思いに応えられる、持続可能で、かつ、明るい未来を築くためにも、全庁一丸となって全力で取り組んでまいりますので、今後とも、皆さまの変わらぬご指導とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びとなりますが、本年が市民の皆さまにとりまして、幸多き一年となりますことを心よりお祈り申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和6年1月1日 小松島市長 中山 俊雄